

### 震災を風化させない。県内JAが一斉に統一活動

JAいわてグループ「統一活動の日」

JAいわてグループでは、3月11日を「統一活動の日」と定め、社会貢献活動を行っています。東日本震災の発生から6年、震災を風化させず更なる復興と未来を見つめた内容で、県内全JAが一斉に活動を行いました。

JAいわて花巻では、母ちゃんハウスだあすこの食堂（花巻市野田）で特別メニューを提供。母ちゃんハウスだあすこ沿岸店で開発した「いか餃子」の定食や、沿岸店で開発し製造する3種のドレッシングを使用したサラダ&ドレッシングバーを提供しました。また、営農振興に尽力する沿岸地域の農家や部会、JAの復興支援活動や商品を紹介し沿岸店への来店を促しました。

定食を食べた斉藤寛子さん(28)は「沿岸では今も復興に向けて頑張っていることを思い出した。自分ができることを考えてみる」と話しました。



サラダ&ドレッシングバーを楽しむ来店者

### 雪を地域資源に。豪雪地域ならではの活用法

雪室への雪入れ開始



「雪室」に除雪機で雪を詰め込む

西和賀統括センターは3月7日、同センター敷地内にある、雪を活用した農産物貯蔵施設「雪室」(西和賀町沢内)に雪入れ作業を行いました。

職員や町の除雪作業員など約10人が除雪機やブルドーザーなどの重機を使い、同センターに積もった雪約200tを雪室へ詰め入れました。

雪室の室内温度は約3度で高湿度を保っており、作物の鮮度を長く持たせることができる優れたもの。室内に、昨年の秋に収穫したリンゴを4月下旬に出荷するまで貯蔵するほか、花きや球根、イチゴなどの集荷物を貯蔵します。雪室の冷蔵機能は9月末から10月まで続きます。

### 大型農機目白押し! 農機合同大展示会&実演試乗会

(株)JAグリーンサービス花巻は3月17、18日の両日、本社特設会場(花巻市野田)で花巻・石鳥谷・東和・遠野・北上地域合同の「農機合同大展示会&実演試乗会」を開きました。

地域内外から約430人が来場。会場には27社の農機具100台以上が並んだほか、GPSを利用した自動操舵トラクターの試乗会を行いました。重複作業や作業抜けを防止するための誤差1cm以下の精度に、試乗体験者からは、驚きの声が上がりました。

来場した鎌田裕一さん(56)は「GPSを利用すると、無駄を省けて早く作業が終わる上、夜間も作業が出来る」と話しました。



担当者から教わりながら、GPS自動操舵のトラクターに試乗する来場者

### 地域に母ちゃんパワーを! 青空市がスタート

毎週木曜日に「注文の多い矢沢かあちゃん市」



12月までの毎週木曜日、午後2時から元気に営業中

女性部矢沢支部の産直の会「注文の多い矢沢かあちゃん市」は3月16日、ガソリンスタンドセルフ矢沢の向かいにある倉庫前(花巻市高木)で、今年度の販売をスタートしました。

特設の棚には野菜や花、手作りの漬物や菓子などの豊富な品物が並び、冬期休業からの営業開始を待ちわびた地域住民が訪れ、にぎわいました。市は、会員との会話や来客者同士との交流の場所としても一役買っています。

清水ひろ子会長は「多くの人に支えられ、今年もオープンできた。待っていてくれたいる人のために、安全安心と元気を地域に届けたい」と笑顔を見せました。

### 限定ワインを振る舞う ぶどう生産者と共にワインを楽しむタベ2017



自慢のワインを振る舞う生産者(右)と笑顔を見せる来場者(左)

(株)エーデルワインは3月3日、「ぶどう生産者と共にワインを楽しむタベ2017」を大迫ふるさとセンター(花巻市大迫町)で開きました。

振る舞ったワインは、生産者33人が自らの園地で収穫した平成28年度産のワイン専用品種「メルロー」、「ロースラー」など6品種のほか、生産者全員のプロドウをブレンドした限定品です。来場者約200人は同じ品種でも園地によって違う味を飲み比べながら、生産者との話に花を咲かせました。

来場した佐々木俊雄さん(82)は「ワインを飲みながら、いろいろな人と話せるので楽しい。毎年参加している」と上機嫌に話しました。

### お金とより良く付き合い、幸せに生きるために 若手女性農業者研修会「ライフプラン研修」



真剣に学ぶ参加者。笑いあり感動話ありで活気に溢れた研修

中央農業改良普及センターは3月9日、若手女性農業者を集め、ライフプランの研修会を花巻地区合同庁舎(花巻市花城町)で開きました。

(二社)家の光協会の平間聡さんを講師に、JA管内の女性農業者や関係機関など21人が参加。社会情勢を背景にお金の価値や効果的な消費の考え方と方法、家計改善や費用削減ポイントなどを学び、人生設計における帳簿記入の重要性と付け方を実践しました。

参加した昆真喜子さんは「お金や帳簿記入に対する意識が変わった。家計や会社(農業)の経営、今後展開しようと考えている事業に生かしたい」と語りました。